



九州地方整備局同時発表

平成29年8月15日
水管理・国土保全局砂防部保全課
九州地方整備局河川部河川工事課

赤谷川流域において新たに国直轄による緊急的な砂防工事を実施します

九州北部豪雨により流出した土砂や流木による二次災害の防止を図るため、筑後川水系赤谷川流域（福岡県朝倉市）において直轄砂防事業により、速やかに砂防堰堤等の整備に着手します。

今般の災害で、崩壊土砂や流木が多量に発生した赤谷川流域においては、現在、国が権限代行制度により緊急的な河川の掘削等を実施しているところですが、この度、福岡県知事から要望を受け、砂防工事についても新たに国直轄で実施することとしました。

赤谷川流域は、崩壊が多数発生し、上流部に不安定な状態で堆積している土砂や流木が残存しており、加えて風化花崗岩地質であるため、比較的小規模な降雨でも流出するおそれがあることから、河川の掘削と一体的に流域全体の二次災害の防止を図るため、直轄砂防事業により、速やかに砂防堰堤等の整備に着手することとしました。

【実施箇所】

福岡県朝倉市（^{はきますえ}杷木松末地区）

【実施内容】

砂防堰堤工2基、遊砂地工1基、強靱ワイヤーネット工4基

《問い合わせ先》

【事業全般に関すること】 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課
企画専門官 小竹 利明（内線：36222）
大規模土砂災害対策係長 大西 竜太（内線：36214）
代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8470 FAX：03(5253)1611

【現地工事に関すること】 国土交通省 九州地方整備局 河川部河川工事課
河川工事課長 大野 誠（内線：3711）
代表：092(471)6331 直通：092(476)3526 FAX：092(476)3472

平成29年7月九州北部豪雨により福岡県朝倉市で発生した土砂災害に対して

直轄砂防災災害関連緊急事業を実施します

国土交通省砂防部
平成29年8月15日

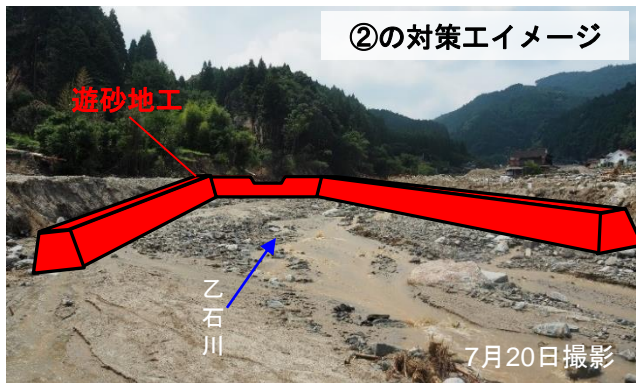
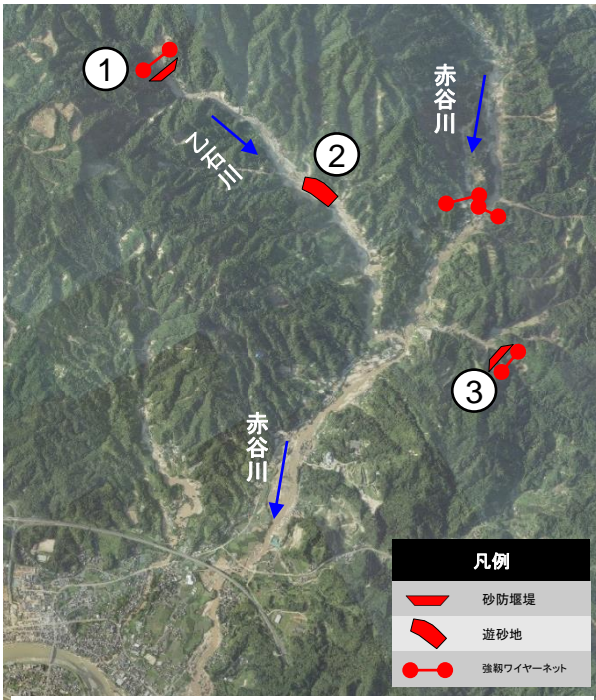
筑後川水系赤谷川流域において発生した土砂災害について、流域内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐための緊急的な砂防工事を実施します。(全体事業費:約28億円)



【筑後川水系赤谷川】
あさくらし はきますえ
福岡県朝倉市杷木松末地区

- 平成29年7月九州北部豪雨による被害状況
人家275戸(杷木地域)*、公共施設、県道52号等
- 主な対策工
砂防堰堤工2基、遊砂地工1基、
強靱ワイヤーネット工4基

※:朝倉市HP災害情報より(8月9日時点)



現地測量等の結果によっては、施設の位置等は変更となる場合があります。

凡例	
	砂防堰堤
	遊砂地
	強靱ワイヤーネット

大きな災害を受けて直ちに直轄砂防災害関連緊急事業により工事に着手した事例

水系等名	実施年度	災害概要
栗駒山系	H20	平成20年岩手・宮城内陸地震により、岩手県・宮城県内において河道閉塞が15箇所発生。
防府山系	H21	平成21年7月中国・九州北部豪雨により、山口県防府市の各所で土石流が発生。
紀伊山地	H23	平成23年9月の台風12号により、大規模な斜面崩壊が発生し、奈良県、和歌山県において河道閉塞が17箇所発生。
奈半利川水系	H23	平成23年7月の台風6号により、高知県北川村において大規模な山腹崩壊に伴う土石流が発生。
矢部川水系	H24	平成24年7月九州北部豪雨により、大規模な斜面崩壊が発生。また、崩壊土砂により河道の一部閉塞が併せて発生。
阿蘇大橋地区	H28	平成28年熊本地震により、熊本県南阿蘇村において大規模な斜面崩壊が発生。
筑後川水系 赤谷川	今回	平成29年7月九州北部豪雨により、福岡県朝倉市、東峰村において多数の山腹崩壊が発生し多量の土砂と流木が流出。

位置図

